

共	○耐震施工	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針（独立行政法人建築研究所監修）2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。 (1) 設計用水平地震力 $\leq 2.2 \times 1.13 \times 2.2 \times 1.14$ 機器の重量[kN]に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合は、設計用標準水平地震度は、次による。 設計用標準水平地震度																																																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">○特定の施設</th><th colspan="2">※一般の施設</th></tr> <tr> <th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上層階・ 屋上及び塔屋</td><td>機器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr> <tr> <td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr> <tr> <td>水槽類</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr> <tr> <td>機器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr> <tr> <td rowspan="4">中間階</td><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr> <tr> <td>水槽類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr> <tr> <td>機器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr> <tr> <td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr> <tr> <td rowspan="2">地階・1階</td><td>機器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr> <tr> <td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr> </tbody> </table> 【備考】・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 ・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。 ・水槽類に燃料小出槽を含む。 重要機器は、次のものを示す。 ○配電盤 ○発電装置（防災用） ○直流電源装置 ○交流無停電電源装置 ○交換機 ○自動火災報知受信機 ○中央監視制御装置 ○ (2) 設計用地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 (3) 水配管、垂直配管の耐震支持については標準仕様書によるものとし、特定の施設、一般の施設の区分については(1)による。 (4) 建物引込部の耐震処置を行う配管及び建物エキスパンションジョイント部の配線は別図による。(図面番号)		機器種別	○特定の施設		※一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階・ 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	地階・1階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.0	1.0
	機器種別	○特定の施設			※一般の施設																																																											
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																											
上層階・ 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																											
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																											
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																											
	機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																											
中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																											
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																											
	機器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																											
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																											
地階・1階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																											
	防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																											
通	○寸法	壁その他壁類について図示した寸法は、約寸法とする。建築意見合いとなる部分については監督職員の承認を受けて変更してもさしつかえない。																																																														
	●圧着端子 ○呼び線	丸型とする。 長さ1m以上の人線しない管路には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線棒を挿入する。<2.2.15> 長さ1m以上の配線引込き後の配管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線棒を挿入する。																																																														
事	○フラッシュ プレート	○金属製(ステンレス、新金属も含む) ○樹脂製																																																														
	○フロアプレート ベース	水平高底調整式(変転防止付リング付、□フロア部分を除く) ○鉛金製 ○アルミ製																																																														
項	○盤類等	盤類等の仕様は機器表による。他に、次のよう。 ○盤内配線は原則としてエゴ電線とする。(消防法上はHIV) ○工事番・工事名称・施工年月・受注者・施工者(受注者と同一でない場合)を銘板等で表示する。 ○図示した寸法は、約寸法とする。建築意見合いとなる部分については監督職員の承認を受けて変更してもさしつかえない。 ○図示した寸法は、約寸法とする。建築意見合いとなる部分については監督職員の等を記した銘板を貼付ける。																																																														
	○屋外形 プルボックス等	屋外形のプルボックス及び屋外に使用する配管支持金物等の確材料は、SUS製又は溶融亜鉛めっきJIS H 8641に規定するHJD35相当とする。 なお、真鍮のネジは屋外形とむ六角プラスビスとする。																																																														
電	○天井点検口等	天井点検口の裏側に用途名称を付す。																																																														
	○配線	電動機への配線のうち、電動機端子箱に直接接続する部分には、全金属製かつ電線管を用意するほか、標準図第2編「電力設備工事」による。ただし、電動機が端子箱を有していない場合又は電動機の設置場所が二重天井内の場合には、この限りでない。 (図面番号)																																																														
灯	●工事範囲 ●LED照明器具 の規格	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ●取り外し再取付 LED照明器具の定格消費電力等が標準図とJILで異なる場合、JILの規定を適用する。																																																														
	○照明制御装置	調光下照灯、感知時間等システム設定は監督職員の指示による。 ○個別照明制御 センサー設定器を3個付すること ○統合照明制御 仕様は別図による(図面番号) (2.16.3)																																																														
設	○防水試験 ○照度測定	防水及び防湿性の照明器具は防水試験を行う。 一般照明の照度測定を行う。 測定結果はJIS Z 9110およびJIS Z 9127の推奨照度の照度範囲内であることを確認する。 照度の点検時は照度及び回路電流値の測定を行う。(2.2.18.2)(2.2.1.1)(2.2.19.2)																																																														
	○傾斜天井 ○スリット ○非常用照明	※傾斜天井対応の器具を使用する。 ○別途工事により対応する。 ●電源内蔵形の電圧別器形 非常用照明は、床面において水平面照度で2lx以上を確保する。 ○引き出し形 ○押し出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 ○□フロア用 大径ネーム付とする。換気扇用スイッチは確認表示付付とする。 コンセントプレートの指定箇所に回路名称(回路番号)を付す。																																																														
備	○分電盤・○A盤 ・実装盤	仕様は別図による(図面番号) SPD ○設置する ○設置しない																																																														
	○総合動作試験	※実施しない ○実施する																																																														

<2.2.19.2>

動力設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付	
	○監視方法 ○監視盤 ・手元開閉器箱	○警報盤による代表監視 ○中央監視制御装置による監視 仕様は別図による(図面番号) SPD ○設置する ○設置しない 単位ユニットの電圧計はコンデンサよりも負荷側に接続する。 自動連動動作は、試験運転した場合連動しないものとする。 火災報知設備の受信機、自動制御装置及びガス漏れ火災警報受信機と連動して空調機を停止させる。	
設備	○インターロック	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付	
	○制御盤の散水試験 ○電動機への接続 ○給合動作試験	○散水試験を行う。試験回数 ○全数 ○全体の()% 配線用支持架台 ※設ける ○設けない ※実施しない ○実施する	(2.2.15.1)×(2.2.16.1)
電気設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付	
	○適用JIS	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付 ○JIS A 4201-2003 ○JIS A 4201-1997	
雷保護設備	○雷保護	○外部雷保護 ○内部雷保護	
	○雷保護レベル ○接地	○I ○II ○III ○IV ○A型接地板(板状接地板、垂直接地板及び放射状接地板) ○B型接地板(環状接地板及び網状接地板) ○構造体利用接地板(大地低抵抗率測定用接地補助板を構造体下部に設ける。) ○工事設備において内部雷保護の等電位ボンディングを行う場合のC種又はD種接地工事の接地線の太さは8mm ² 以上とする。 ○電圧降下法による接地抵抗測定を行う。	(2.2.18.2)×(2.2.13.2)×(2.13.9)×(2.2.19.2)×(2.2.14.4)×(2.2.14.9)
受変電設備	○鋼製矢針支持管 ○鉄骨及び鉄筋 との接続	○一段目の長さは ※4000mm以上 ○ mm以上 ※圧着、ねじ締め、ボルト締め ○溶接	(2.2.17.3)×(2.2.18.3)
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付 ○既設改造	
受電設備	○受電電圧	※高圧受電(6.6kV) ○特別高圧受電(kV)	
	○配電盤形式	○キュービクル式配電盤 (3.1.1.3)×(3.1.1.5)×(3.1.1.6) (OPF・S形(変圧器容量300kVA未満) OCB形)(図面番号) ○高圧スイッチギヤ (図面番号)	
変電設備	○認定キュービクル	消防法に基づく各種認定機関による「キュービクル式非常電源用受電設備」の認定を受けたものを使用する。	
	○設備容量 ○変圧器	○変圧器容量125kVA ○高圧電動機給容量 kVA (トランス用変圧器2026) 適用品を使用すること。 絶縁方式 ※油入 ○モールド 付属品 ○防振ゴム ○ダイヤル温度計 ○移動車輪	
電力設備	○進相コンデンサ	○高圧側設置 ○低圧側設置 OAPFC(自動力率調整器) ※設ける ○設けない 絶縁方式 ○油入 ○乾式(○モールド ○ガス入り) ※6kV、○13kV 絶縁方式 ○油入 ○モールド	
	○高圧負荷開閉器 ○絶縁監視装置	※手動操作式 ○電動式 仕様は別図による(図面番号) ○高圧用 ○低圧用	(3.1.8.3)×(3.1.8.5)
電力貯蔵設備	○基礎 ○接地の共用 ○その他	※本工事(図面番号) A種接地、C種接地及びD種接地の接地板は共用し、接地抵抗値は10Ω以下とする。 ○屋外電気作業のネットフェンス ※本工事 ○別途工事 ○停電作業に伴い、電気主任技術者を立ち合わせること。	
	○工事範囲 ○工事種類	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付 ○直流充電装置 ○交流無停電装置 ○漏易形交流無停電装置 ○電力平滑化用蓄電装置 ○分散型エネルギーマネジメントシステム ○機器の仕様は、別図による。(図面番号) ○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付	
発電設備	○用途	○非常用発電設備 ○非常用発電設備(※系統連系型 ○独立型) (5.1.4.1)×(5.1.5.1)×(5.1.7.1)×(5.1.8.1) ○装置の仕様は別図による(図面番号)	(5.1.4.1)×(5.1.5.1)
	○ディーゼルエンジン発電装置 ○太陽光発電装置	○装置の仕様は別図による(図面番号) OPV(直流用SPD) ※設ける ○設けない ○発電装置の種類 ○装置の仕様は別図による(図面番号)	(5.1.7.1)
電力設備	○その他の発電装置	○装置の仕様は別図による(図面番号)	
	○現地負荷試験 ○基礎	現地負荷試験は監督官の指示による ※本工事 ○既設利用 ○既設工事(図面番号)	(5.1.10.1)

工事名 令和8年度 第115号 明日香夢の旬菜館照明器具LED化工事				課題番号 E-02	
題名 電気設備工事特記仕様書(2)		図尺	作成日 年 月 日 変更日 (異議) 年 月 日	確認印	
明日香村明日香産菜課					

令和4年版Ver.1.1

構内情報設備

配管配線機器取り付け機器移設取り外し再取り付け

交換設備

配管配線機器取り付け機器移設取り外し再取り付け

情報表示装置

配管配線機器取り付け機器移設・改設取り外し再取り付け

マルチサイン別図による（図面番号）

出退表示設備別図による（図面番号）

時刻表示装置親時計は、時刻補正機能を有するものとし、時刻補正の方式は、別図による（図面番号）

時刻同期装置時刻補正機能を有するものとし、時刻補正の方式は、別図による（図面番号）

太陽光電池式点灯時間及び不日照時の点灯保証日数は、別図による（図面番号）

ボール形屋外時計時刻補正の方式は、別図による（図面番号）

設備仕様

配管配線機器取り付け機器移設・改設取り外し再取り付け

機器仕様

別図による（図面番号）

放送設備

配管配線機器取り付け機器移設・改設取り外し再取り付け

機器仕様別図による（図面番号）

工事種類〇非常放送設備〇一般放送設備

放送設備の兼用非常放送設備を一般放送設備と兼用する。

通信用SPD〇設置する（カテゴリOC2〇D1）〇設置しない

誘導支援設備

配管配線機器取り付け機器移設・改設取り外し再取り付け

音声誘導装置別図による（弱電図面）

インターホン別図による（弱電図面）

トイレ等呼出装置別図による（弱電図面）

受付呼出装置別図による（図面番号）

テレビ共用受信設備

配管配線機器取り付け機器移設・改設取り外し再取り付け

UHFアンテナ※UHF（全帯域用）〇UHF（帯域用）

BS・CSアンテナOBS・110°CS〇CS

通信用SPD〇設置する（カテゴリOC2〇D1）〇設置しない

アンテナマスト取付方法〇壁面取付形〇自立形

材質※溶融亜鉛めっき〇ステンレス

受信調査アンテナ取付け予定位置及びその周辺で端子電圧、振幅周波数特性、等価C/N値、ビット誤り率、受像画質を測定及び調査する。（測定チャンネルは別図による（図面番号））その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。

テレビ防犯設備

配管配線機器取り付け機器移設・改設取り外し再取り付け

屋外形機器収納箱〇合成樹脂製〇アルミダイキャスト製〇鋳鉄製〇銅板製

事前調査調査箇所数箇所

建物建築前に路上で端子電圧、振幅周波数特性、等価C/N値、ビット誤り率、受像画質を測定及び調査する。（調査チャンネルは別図による（図面番号））

設備メンテナンス

配管配線機器取り付け機器移設・改設取り外し再取り付け

機器仕様別図による（図面番号）

通信用SPD〇設置する（カテゴリOC2〇D1）〇設置しない

監視設備

配管配線機器取り付け機器移設・改設取り外し再取り付け

機器仕様別図による（図面番号）

防犯設備

配管配線機器取り付け機器移設・改設取り外し再取り付け

防犯設備別図による（図面番号）

入退室管理制御装置別図による（図面番号）電気錠設備

火災報知設備

配管配線機器取り付け機器移設・改設取り外し再取り付け

自動火災報知設備別図による（図面番号）

地区警報装置別図による（図面番号）

自動閉鎖設備別図による（図面番号）

非常警報装置別図による（図面番号）

ガス漏れ火災警報設備別図による（図面番号）

通信用SPD〇設置する（カテゴリOC2〇D1）〇設置しない

〇R型及び自動試験機能付きのP型受信機〇感知器等の増設や変更等に伴う設定は別図による（図面番号）

中央監視制御設備

配管配線機器取り付け機器移設・改設取り外し再取り付け

警報盤別図による（図面番号）

簡易型監視制御装置別図による（図面番号）

監視制御装置別図による（図面番号）

通信用SPD〇設置する（カテゴリOC2〇D1）〇設置しない

構内配電線路

配管配線機器取り付け機器移設・改設取り外し再取り付け

〇ふ設方法〇地中埋設式〇架空線式

埋設深さ（図面に記載なき場合は、GL（舗装がある場合は、舗装下面）-600mm以下とする。

構内配電線路

〇高圧引込用気中負荷開閉器用途〇架空引込用（PAS）〇地中引込用（UAS）

構造〇銅板製〇ステンレス銅板製

内蔵機器避雷器〇要〇不要

制御電源用変圧器〇要〇不要

SOG制御装置〇引込柱設置（ステンレス銅板製収納箱・鍵付き）

〇キュービクル設置

〇自立開閉器基礎

※本工事〇既設〇別途工事

〇マンホール及びハンドホール

構造、寸法は※標準図による。〇別図による。（図面番号）

蓋の用途表示は〇奈良県高圧〇奈良県電気〇とする。

ケーブルが直接触れない場合の金物は接地を省略してもよい。

ケーブル支持材※設ける

強電弱電用セパレート〇設ける

〇余長

高圧ケーブルは、マンホール、ハンドホールまたはキュービクル内等の1ヶ所で約3mの余長をとる。

〇高圧ケーブル、がいし、端末処理

屋外で高圧ケーブル相互の接続または端末処理を行う場合は、被覆の伸縮対策を施す。

〇外灯

用途〇一般用〇景観照明用

基礎※本工事（図面番号）〇既設〇別途工事（）

照明用ポール表面仕上げ〇溶融亜鉛めっき〇塗装〇標準色〇指定色

接地〇各ポール毎に接地を施す〇開閉器〇配線用遮断器（引き外し装置なし）

〇カットアウトスイッチ（素通しヒューズ）

〇工事範囲

〇配管〇配線〇機器取付〇機器移設取り外し再取付

〇ふ設方法

〇地中埋設式〇架空線式

埋設深さ（図面に記載なき場合は、GL（舗装がある場合は、舗装下面）-600mm以下とする。

〇マンホール及びハンドホール

構造、寸法は※標準図による。〇別図による。（図面番号）

蓋の用途表示は〇奈良県通信〇とする。

一般事項

〇石綿作業主任者適用する【9.1.2】

〇特別管理産業廃棄物管理責任者適用する【9.1.2】

〇施工計画調査特別管理産業廃棄物等の調査は次による（適用範囲：蛍光灯安定器）

使用状況調査（製造所名、製造年、型式、種類、数量等）

処分条件調査（収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設等）

調査結果報告書の提出。【5.1.2】

環境

〇分析調査微量PCBの測定を行う。（対象機器：）【5.4.1】

〇特別管理産業廃棄物の処理等〇特別管理産業廃棄物【5.4.1】

種類	処理方法
〇廃石綿等	石綿含有建材の除去等による
〇PCBを含む機器類	保管（保管場所：）
	保管容器は別図による。（図面番号）
〇PCB含有シーリング	保管（保管場所：）
〇廃油	〇中間処理施設再生処理〇焼却処分
〇廃酸／廃アルカリ	製造業者又は専門業者（回収委託）
	〇中間処理施設再生処理〇中和処理〇焼却処分

〇特殊な建設副産物の回収及び処理【7.3.1】

種類	処理等
〇フロン類	登録回収業者（回収委託）
〇ハロン	設備設置業者等（処理委託）
〇イオン化式感知器	製造業者等（処理委託）
〇六フッ化硫黄（SF6）ガス	製造業者（処理委託）
〇特定化学物質	処理業者（処理委託）

修繕工事

〇石綿含有建材の調査施工調査（石綿含有建材の有無）は監督員、工事監理者、受注者立会のもと行う。

目視及び設計図書等による製造年等の確認【1.5.1】

〇石綿含有建材の分析調査分析方法

〇JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有測定方法」による

※「建材中の石綿含有率の分析方法」（平成18年8月21日基発第0821002号、基安化発第0821001号及び平成20年2月6日基安化発第0206003号）による。

分析結果報告書を提出する。【1.5.1】

〇石綿含有保温材等の除去及び処分除去方法

〇手ばらし〇破碎して除去

除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置

※湿潤化〇固化

保管場所（）

除去した石綿含有保温材等の処分

〇埋立処分（管理型最終処分場）〇中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

機器取付高さ

※取付高さは標準であり、監督職員の承諾を受けて変更してもよい。

名	称	測点	取付高(mm)	
電灯	電灯動力共通	引込用計器	地上～窓中心	1,800～2,000
		引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200
		分電盤	床上～中心	1,500
		スイッチ（一般）	床上～中心	1,300
		スイッチ（多機能トイレ）	床上～中心	1,100
		スイッチ（自動扉用）	床上～中心	1,700
		コンセント（一般）	床上～中心	300
		コンセント（和室）	床上～中心	150
		コンセント（台上）	台上～中心	150～300
		コンセント（車椅子用）	床上～中心	900
		コンセント（機房室・車庫）	床上～中心	800～1,300
		フラケット（一般）	床上～中心	2,100～2,300
動力	フラケット（踊場）	床上～中心	2,000～2,500	
	フラケット（鏡上）	鏡上端～下端	50	
	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500	
	手元開閉器	床上～中心	1,500	
	操作スイッチ	床上～中心	1,300	

凡例

記号	名称	備考
	LED照明器具 直付	
	LED照明器具 壁付	
	LED照明器具 コード吊	
	LED照明器具 直付	
	LED照明器具 壁付	
	LED照明器具 埋込	
	埋込コンセント 1ヶ口 2P15A	
	2ヶ口	
	アース付	
	2口アース付	
	防水型コンセント 2口アース付	
	埋込コンセント フラット床用	
	T型 2P20A	
	天井用 2P15A	
	埋込スイッチ 片切 1P15A	
	両切 2P15A	
	3路 3W15A	
	4路 4W15A	
	人感センサー（換気扇対応）	
	電灯分電盤	
	電灯動力盤	
	動力盤	
	警報盤	
	電極	
	手元開閉器	
WP	防水型	
	ブルボックス	
	端子盤	
	アンプ	
	スピーカー 天井埋込	
	壁掛	
	ホーン型	
	アッテネーター	
	総合盤（消火栓箱組込）	
	差動式スポット感知器	
	定温式スポット感知器	
	光電式煙感知器	
	コアー抜き（鉄筋探査の事）	
	立ち上げ、素通し、引き下げ	
	メレゾファワイヤーでケーブルをハガーで吊る	
	露出配管配線	
	露出配管、2mピッチにて金物で固定の事。	

工事名

令和8年度第115号明日香夢の旬菜館照明器具LED化工事

図名

電気設備工事特記仕様書（3）

縮尺

作成日

年 月 日

変更日

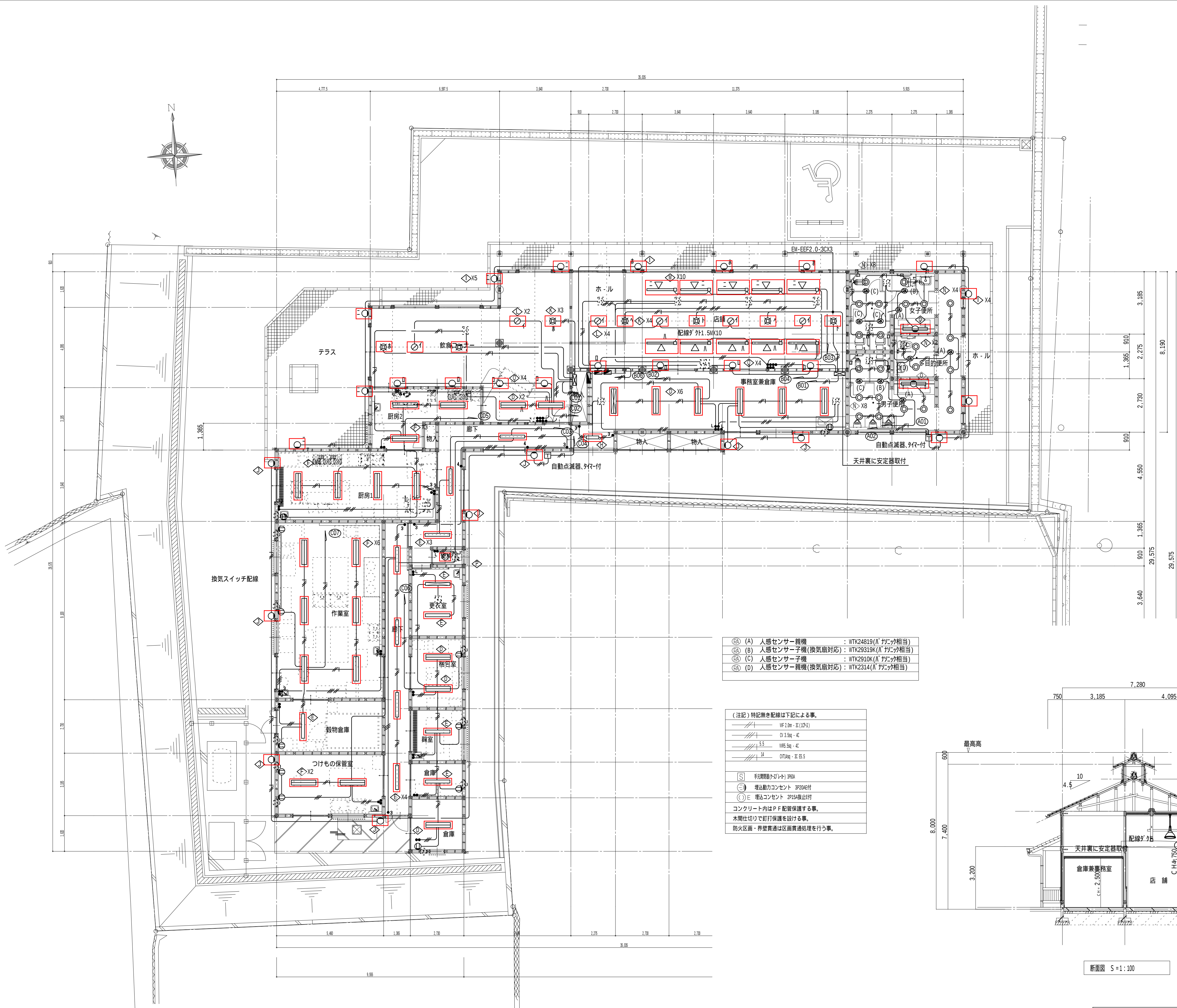
（最終）年 月 日

確認印

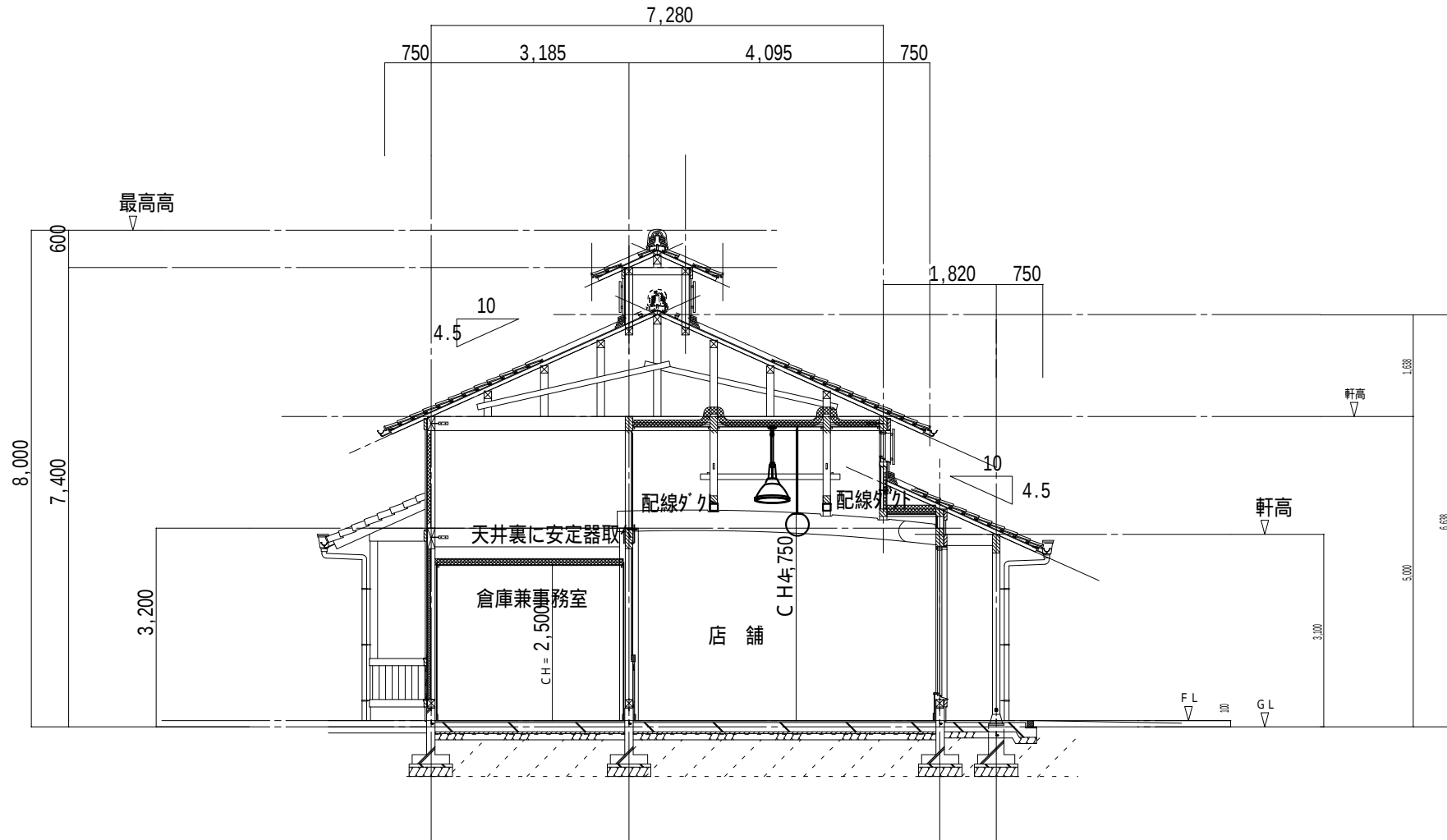
明日香村明日香産業課

図面番号

E-03



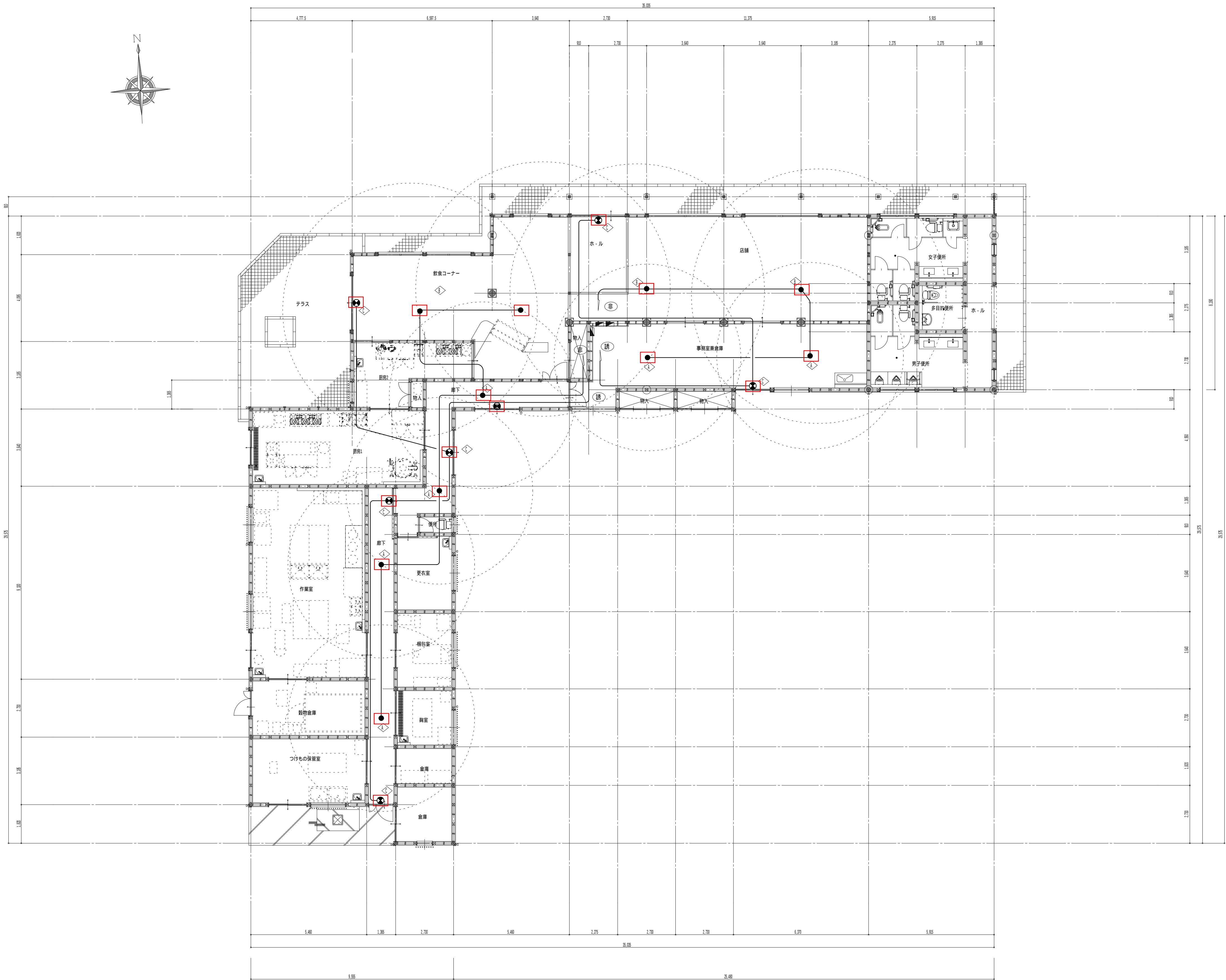
- (注記) 特記無き配線は下記による事。
- WF 2.0m x 2.0m (10F)
 - Q 3.5m x 4m
 - WS 5m x 4m
 - 14 0.75m x 0.5m
- ⑤ 手元照度計 (V-H) 3000
⑥ 埋込動力コンセント 3P20A付
⑦ 埋込コンセント 2P15A極止付
コンクリート内はP.F.配管保護する事。
木間仕切りで釘保護を設ける事。
防火区画・界壁貫通は区画貫通処理を行う事。



断面図 S=1:100

：改修対象

JOB NO	DATE	JOB NAME	NO
APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	E-05
電灯設備 平面図			SCALE S=1:100
明日香村明日香産業課			



A 210° Y30° 電池内蔵型

30分後の床面水平照度1lx以上の最大取付間隔

器具取付高さ	2.0m	2.4m	2.8m	3.0m	3.5m
単体配置	A1 4.0	4.4	4.6	4.2	2.0
直線配置	A2 8.6	9.6	10.2	11.2	12.2
四角配置	A4 6.9	7.7	8.2	9.0	10.0

B 210°/30° 電池内蔵型 中天井用

21.4/20.4 - H 60° 0.75

器具取付高さ	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m
単体配置	A1 6.0	7.2	7.1	7.2	4.4
直線配置	A2 12.7	16.2	16.6	18.1	14.1
四角配置	A4 9.6	12.2	14.7	16.6	18.8

C 高輝度誘導灯 10C

（注記）特記無き配線は下記による事。	
WF 2.0mm - 2	隠蔽配線
WF 2.0mm - 2	露出配線
露出配線の場合はカラーケーブルを使用の事	
コンクリート内はPF配管保護する事。	
木間仕切りで釘打保護を設ける事。	
防火区画・界壁貫通は区画貫通処理を行う事。	

： 改修対象